
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 8 月 3 日 第 363 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 8 月 17 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・柳川観光列車「水都 - すいと - 」引継式～7月22日に西鉄福岡（天神）駅で引継式が行われました～
- ・全国一斉造船所・船用事業所見学会が開催されました～この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう～
- ・福岡地区小学校の先生を対象に、海事産業見学会を開催しました～海事産業の将来を担う人材育成に向けて～

2 お知らせ

- ・加賀九州運輸局長の挨拶
- ・平成 29 年 7 月九州北部豪雨に関する宿泊施設等情報
- ・鉄道のある風景写真コンテスト作品募集
- ・鉄道写真詩コンテスト作品募集
- ・広報誌「国土交通」No.145（2017.8-9）

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

◆柳川観光列車「水都 - すいと - 」引継式

～7月22日に西鉄福岡（天神）駅で引継式が行われました～

◎西鉄福岡（天神）駅～柳川駅間を走る西日本鉄道の柳川観光列車「水都 - すいと - 」が現行の 8000 系車両から 3000 系車両にリニューアルされることから、7月22日（土）に引継式が西鉄福岡（天神）駅で行われました。

◇内容

- ・西日本鉄道は、現在運行中の柳川観光列車「水都」の車両が製造初年から 29 年経過したことから車両及びデザインのリニューアルを実施し、7月22日より運行開始。
- ・車両の外装デザインは、現在の「水都」のデザインである「柳川の四季」を踏襲しながらも、新たに城下町・柳川に息づく武家文化を象徴する色として、すべての車両に格式と気品を表す「漆黒色」を追加し、歴史ある柳川の世界観を表現。
- ・車両に設置しているディスプレイキャビネットには、従来の柳川観光パンフレットや物産品のほか、新たに立花家資料館より寄贈いただいた文化財レプリカを設置し、また、各車両には柳川をテーマとした 6 種類の記念乗車カードを設置。
- ・車内には、無料公衆無線 LAN サービス「Nishitetsu Train Free Wi-Fi」を新た

に導入。

・7月22日の引継式では、新「水都」の入線、西日本鉄道 庄崎鉄道事業本部長の主催者挨拶、九州運輸局 首藤鉄道部長と柳川市 金子市長の来賓挨拶、テープカット、「旧」水都の入線、レバーシングハンドル継承式、花束贈呈に続き、植野立花家資料館長と駅長の出発合図により新「水都」の運行開始。

◇九州運輸局からのメッセージ

・新「水都」の運行によりお客様へのサービス向上をはじめ、西日本鉄道の新たな魅力となり需要拡大の起爆剤、観光地柳川のさらなる魅力向上、沿線地域の活性化となることを期待しています。

(鉄道部 計画課)

◇引継式の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_363_1.pdf

◆全国一斉造船所・船用事業所見学会が開催されました。

～この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう～

◎平成29年7月25日(火)、大分県佐伯市の佐伯重工業(株)において(一社)日本中小型造船工業会主催による進水式の見学会が行われました。

◇内容

・今般、開催された進水式の見学会は、総合海洋政策本部、国土交通省、(公財)日本財団が平成27年度からオールジャパンで推進する「海と日本PROJECT」の一環として(一社)日本中小型造船工業会が主催する「全国一斉造船所・船用事業所見学会～この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう！！～」事業として開催されたものです。

・同見学会は、7月15日(土)から8月末まで全国各地で開催され、九州運輸局管内では10事業者、17回の開催が予定されています。

・今回の見学会では、主催者が招待した佐伯市内の児童クラブ7団体の子ども達とその指導者、計340人が佐伯重工業(株)で建造中の東京～大阪～沖縄航路に就航予定の約11,900トンのロールオンロールオフ船(RO-RO船)※1の進水式を見学しました。

・進水式を盛大に祝おうと企画されたステージイベント、造船所や船主(建造船舶の発注主)、荷主など関係者による餅投げに続き、船主等による支綱切断※2で進水が行われました。

・船台からゆっくり海面へ進水していく船を間近で見学した子ども達から、「大きい!」「初めて見た!」などの歓声があがり、進水式に目を輝かせていました。

※1 フェリーと同様、トレーラーやトラックなどの貨物車両が自走して乗下船できる貨物船。

※2 進水する船を最後まで繋げている1本の綱を支綱(しこう)といい、これを斧で断ち切って進水させること。

◇九州運輸局からのメッセージ

・九州運輸局では、造船所の見学会や出前講座等を通じて造船産業の重要性や魅力を伝える取組を行っており、今回の見学会で船に携わる仕事に興味や関心を持ち、将来の選択肢の一つに考えてくれる子ども達が出てきてくれることを願っています。

す。

・造船業界においても少子化に伴う労働力不足は喫緊の課題となっております。今後も、今回のような将来を担う人材の育成とともに、高校生等即戦力世代に対する見学会等の取組についても関係機関等と連携しながら実施して参ります。

(海事振興部 船舶産業課)

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーをご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_363_2.pdf

◆福岡地区小学校の先生を対象に、海事産業見学会を開催しました
～海事産業の将来を担う人材育成に向けて～

◎九州運輸局では、7月31日(月)、福岡地区小学校の先生(福岡地区社会科研究協議会に所属)を対象に、博多港で「海事産業見学会」を開催しました。

◇概要

・見学会は、「見る」・「聞く」・「触れる」・「体験する」という機会を通じて、海事産業の魅力や重要性を広く知り、授業を通じて児童・生徒に伝えてもらうことを目的として、九州海事産業次世代人材育成推進協議会(事務局:九州運輸局)の事業により開催。

・参加した教員は、福岡地区小学校で構成する社会科研究協議会に所属する計39人。

・協力:琉球海運(株)、三井倉庫九州(株)、博多港ふ頭(株)、(公財)九州運輸振興センター

◇内容

・博多～鹿児島～那覇～宮古～石垣を運航する、琉球海運(株)の内航貨物ロールオンロールオフ船(RO-RO船)「にらいかない」に乗船し、車輻甲板、操舵室のほか、乗組員の居住スペースを見学。乗組員から、内航船員の労働環境や生活環境について説明。

・三井倉庫九州(株)の箱崎第2倉庫では、倉庫業及び大量のコーヒー豆や樹脂など、様々な製品に最適な保管条件の提供を実現するシステムについて説明。

・香椎パークポート・コンテナターミナルでは、コンテナの利便性やガントリークレーン等、ターミナルで活躍する荷役機械の説明を受けた後、実際の荷役作業の様子を施設屋上から見学し、海と陸の結節点(港湾)である最新鋭のコンテナターミナルの役割について説明。また、運輸局職員による海事産業講座も実施。

◇九州運輸局からのメッセージ

・参加した先生方は、日頃から我が国の持続的な経済活動に果たす海事産業の役割の重要性は理解しているものの、実際に海事産業に接する機会が少なかったこともあり、なかなか授業等で取り上げることはなかったそうですが、本見学会で自らの目を見た、大規模かつシステム化された海事施設は非常に印象深く、今後の授業等で取り上げたいという感想が多く聞かれました。

・海運業、造船業などの海事産業が盛んな九州にとって、海事産業を担う次世代の人材を確保していくことは非常に重要な課題となっております。これからも海事産業見学会等を通じて、少しでも海事産業の魅力や重要性を知ってもらうために、小・中学生や教員を対象とした見学会を実施して参ります。

(海事振興部)

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーをご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_363_3.pdf

2 お知らせ

◆加賀九州運輸局長の挨拶

・本日、加賀局長の「就任挨拶」を九州運輸局ホームページに掲載いたしました。こちらからご覧いただけます。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/goaisatu.htm>

・7月19日に開催しました加賀局長就任記者会見の様子

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_363_4.pdf

◆平成29年7月九州北部豪雨に関する宿泊施設等情報

福岡県、大分県の宿泊施設等は元気に営業しております。

最新情報はこちらをご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/20170718-kanko.htm

◆鉄道のある風景写真コンテスト作品募集

日本の四季折々の「鉄道のある風景」写真を募集します。

<http://www.jrftt.go.jp/010rganization/publicity/publicity-contest.html>

◆鉄道写真詩コンテスト作品募集

あなたの撮った鉄道の写真にあなたの詩を添えてご応募ください。

<http://ecotran.or.jp/photo/index.html>

◆広報誌「国土交通」No.145(2017.8-9)

～特集・人が結ぶ離島～が発行されました。

<http://www.mlit.go.jp/page/kouhoushi.html>

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部だより ///
一昨日、今年で99回を数える夏の甲子園(選手権大会)の出場49校が決まりました。選手権大会の最多出場校は、北海道の北海高校で今年の出場で38回になるそうです。「え～そんなに出てるの」って感じですが、比較的早いうちに姿を消しちゃてるからでしょうか(失礼なことをすみません)。ちなみに九州の最多出場校

は熊工の 20 回で次に樟南の 19 回ですがいずれも優勝はありません。九州勢の優勝はこれまで 7 回で県別最多優勝回数的大阪府は 12 回ですので、1 県（府）にも及びません。ところで、今大会の優勝候補は清宮君擁する早実が予選敗退したので、本命は春夏連覇を狙う大阪桐蔭でしょうか?! ん、また大阪... 暑さを吹き飛ばし、大阪も吹き飛ばし（けして大阪に悪気はありません）、九州勢が関門海峡を越えて深紅の優勝旗を持ち帰ることを期待しています。

大会初日の 7 日は、暦では秋を告げますが、期間中、球場では酷暑の中熱闘が繰り広げられることでしょう。熱中症対策をしっかりとって全国から集った高校球児、がんばれ!!

◎季節の写真（上の記事とはまったく関係ありませんがご覧ください。）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_363_5.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
